

安心・安全な暮らしのために

家族が笑顔になる 「収納・片付け」

今回アドバイスして下さるのは、整理収納アドバイザー・インテリアコーディネーターの福田久美さん。白山市の水商会上に勤める傍ら、『ほっこリンクデザイン』という設計事務所を立ち上げ、パラレルキャリアという働き方をしています。そんな福田さんにママレポーター宮本がお話を伺ってきました。

主婦業の傍ら
ママレポーターとして
日々、奮闘中！

ChoCo
ママレポーター
宮本

子育てに仕事に
頑張るパワフルママ♡

整理収納アドバイザー・
インテリアコーディネーター
福田久美さん

撮影協力
わくわく幸せ工房 COTO×COTO



“家族が物の場所を知っておくことが大切”

宮本 シール、たばこ、ボタンや電池。誤飲の事故はなぜ起こるのか、そして防ぐためにはどのようなことが必要なのでしょう。

福田 事故が起こるのは出したままになっていることと、元の場所に戻す習慣がついていないからです。例えば電池なら、保管場所は高くして子どもの手に触れない場所に決めると良いです。

そしてそこに保管してあることを家族みんなが知っていることが大切です。

家族が場所を知っていれば出したら戻すという習慣もついて、自発的に片付けもできるようになりますね。

宮本 後で片付けよってちょっと置いておくと、どこかに無くなっちゃうんですね…家族みんなで、出したら戻すの習慣って大切ですね！

子どもがおもちゃを片付ける時のポイントは？

福田 「おもちゃ」という大きなグループでは子どもはどこからどうすればよいのかわからなくなります。始めは「お人形をおうちに帰してあげてね」というように、大事にしているものの小さなグループを作って、その片付けから始めてみましょう。成長とともにできる範囲を広げ

“子どものお片付けは成長とともに範囲を広げる”

ていくと良いですね。

宮本 片付けしながら遊んでくれるのが理想ですけど、どれもこれも出してきちゃって…子どもには難しいですよね！片付けやすい小さなグループ作りからやってみようと思います！

収納・片付けのコツを教えてください！

福田 片付けとは、次に使うために使いやすくすることです。たくさんものごちゃごちゃに入っていたら探すのも大変ですし、細かく分けすぎると難しく

継続ができなくなります。例えば文房具。一つの引き出しに色鉛筆のケースが何種類も入っていませんか？普段使い用の文房具の引き出しには一種類のケースだけ入れて、無くなったら補充するにするとスッキリ使いやすくなります。必要最低限の量をざっくり収納するのがポイントです。

宮本 子どもって新しい色鉛筆から使いたがりますよね…文房具グループでも普段使いと分けて収納するのいいですね！



最後に冊子名にちなんで、福田さんの「チョコ」とした幸せは？

福田 暮らし方の提案を発信していて、その提案で家族がほっこりするような笑顔になる空間ができたらうれしいです。

小物入れにステンシルで模様などを書いて、お気に入りのBOXに片付けるのもおすすめです。実際に作らせてもらいました！

BOX作り♪

ぺったん…

やったあ！完成！

自宅で実践してみました！

自宅で電池を収納して子どもの手の届かないところに置きました。

簡単に作れるし、オリジナルBOXで愛着もわくので何を入れようかワクワクします♪

笑顔が素敵な福田さんから、安心・安全な暮らしのために家族で楽しく片付けができる収納について学びました。二児の母でもある福田さんのお話には、同じママとしてたくさん共感できるものがありました。ものが多すぎて探せない、ママしか場所を知らないというのは大きな負担でした。一気に全部の場所を整理することは難しいけれど、まずは文房具、次は…と、少しずつ必要最低限の量に整理して、片付けてある場所も家族で共有していきたいと思いました。

Before After

ざっくり収納ですっきり！

ざっくりするには量を減らす。チョコッと意識して安心・安全な収納を！